

平成30年度
事業計画

社会福祉法人
西予総合福祉会

平成30年度事業計画（案）

社会福祉法人 西予総合福祉会

I. 基本理念

老人に生きがいを
障がい者には希望を
子どもには大きな夢を

II. 基本方針

西予総合福祉会は、老人、障がい者、子ども、そして地域社会と「共に生き、共に歩み、共に育つ」を行動の指針として、基本理念を支える三つの力「利用者の満足」「職員の満足」「経営の満足」の向上に取り組みます。

1. 老人、障がい者、子どもの尊厳を守り、多様化する社会の要請に応じ、関わるすべての方々の福祉ニーズを的確に捉え、安心・安全な福祉サービスを展開します。
2. 福祉活動の財産は人であるとの考えに基づき、利用者中心の福祉実践、専門性の高い職員集団を育成するとともに、職員の処遇改善に努め、働きがいの実感できる組織づくりに取り組みます。
3. 業務改善に努め、経営の効率化を図ることにより、安定的な財務基盤を確保するとともに、公益性の高い事業活動の観点から、透明性の高い財務管理、健全な財務規律を確立します。
4. 地域から信頼され必要とされる法人として、社会に貢献できる施設運営に取り組み、社会福祉法人の使命である「地域・社会における福祉の発展・充実」に寄与します。

III. 重点目標

1. 基本理念を支える力

1) 利用者の満足

- ・常に人権を尊重し、サービスの質の向上や環境改善に積極的に取り組む。

2) 職員の満足

- ・働きがいのある、魅力ある職場づくりを推進する。

3) 経営の満足

- ・新しい時代にあった法人経営を展開する。

2. 運営体制

1) 事務局

- ・内部管理体制の構築。
- ・内部監査室（経理・運営・リスク）の運営
- ・災害対策体制の確立
- ・事業継続計画（BCP）の整備
- ・財務規律体制の確立

2) 老人事業部

- ・内部業務監査の運営
- ・地域密着型特養“開明の杜”の安定化
- ・リハビリ歩移転計画（うわまち南保育園跡地）の推進
- ・訪問看護ステーションの調査研究
- ・三楽園移転計画の調査研究
- ・外国人実習生の調査研究

- ・介護報酬改定の対応

3) 養護・障がい事業部

- ・三瓶町障がい施設運営計画の調査研究
- ・ぽのぽの移転計画（うわまち東保育園跡地）の推進
- ・希望の森給食業務委託の検証
- ・共生型サービスの調査研究
- ・障害福祉サービス等報酬改定の対応

4) 児童事業部

- ・認定こども園“うわまち未来こども園”の安定化
- ・多田保育園、石城保育園の安定化
- ・技能・経験に応じた保育士等の処遇改善制度の調査研究
- ・高山保育園運営計画の調査研究

3. 委員会組織

1) 人材育成委員会

- ・研修部会（体系的な研修体制の構築）
- ・ボランティア部会（ボランティアの育成）

2) 制度設計委員会

- ・中長期部会（中長期計画の策定、検証）
- ・社会貢献部会（法人後見事業等の推進）
- ・人事制度部会（新人事制度、評価制度の検証）

3) 広報・福利厚生委員会

- ・広報部会（広報機能（ホームページ含む）の強化）
- ・安全衛生部会（職員の安全と健康の確保）
- ・福利厚生部会（職員交流事業及び親睦活動の推進）

IV. 数値目標

- (1) 定年退職者を除く正職員の離職率を5%以下とする。
- (2) 労災保険対象事故の発生件数を前年度対比30%削減させる。
- (3) 事業活動資金収支差額を前年度対比3%増加させる。
- (4) 一人当たりの時間外労働を月平均5時間30分以下とする。
- (5) S2昇格試験受験要件指定資格の資格取得者を20人以上とする。
- (6) ストレスチェック組織分析結果の健康リスクを95以下とする。
- (7) ホームページ閲覧数を前年度対比20%増加させる。
- (8) 障がい者雇用率について法定雇用率(2.2%)を達成する。

V. 会議の開催予定

- | | |
|-----------------|--------------------|
| (1) 理事会 | (3ヶ月に1回以上) |
| (2) 法人幹部会 | (毎月及び必要がある場合はその都度) |
| (3) 施設長会 | (毎月及び必要がある場合はその都度) |
| (4) 評議員会 | (6月及び必要がある場合はその都度) |
| (5) 運営協議会 | (6月及び必要がある場合はその都度) |
| (6) 監事監査会 | (必要がある場合はその都度) |
| (7) 会計監査人監査会 | (必要がある場合はその都度) |
| (8) 評議員選任・解任委員会 | (必要がある場合はその都度) |

【各事業部及び施設別事業計画は別紙のとおり】

平成30年度 老人事業部 重点目標

(1) 顧客の満足

- ① 各施設の理念を理解し、ご利用者お一人おひとりの自立に向けた適切な福祉サービスを実施する。
- ② 大規模災害に備え、事業継続計画の充実を図ると共に、災害に向けた訓練、研修を実施する。
- ③ 第三者評価を受審し、抽出された課題に取り組み、より質の高いサービスの提供に努める。
- ④ 地域高齢者のニーズに応じた事業・サービス内容の検討を行い、実施していく。

(2) 職員の満足

- ① 人事制度の運用により、働きがいの向上に向けた取組を行う。
- ② 専門性を高めるため、研修会の参加促進、OJTによる現場教育の充実を図る。
- ③ 時間外労働の削減、有給休暇の取得推進を行い、働きやすい職場環境に改善していく。
- ④ 資格取得者への助成金支給や資格取得費用の一部助成を継続して行う。

(3) 経営の満足

- ① 法人のMDCVSを理解し、事業部内において各職員に周知し施設運営に反映していく。
- ② 介護報酬の改定を受けて、各施設の収支状況を的確に捉え、現状分析を行い創意工夫により安定した経営が行えるよう努める。
- ③ 地域密着型特養『開明の杜』の経営安定化に向け、事業部一丸となって取り組んでいく。

平成30年度 老人事業部 人材育成計画

(1) 現場研修の方針

- ① 施設長を中心に各リーダーが推進役となりOJTを実施していく。
- ② 各職員のスキルアップのため、学ぶ意欲が向上するよう働きかける。
- ③ 各種資格取得への支援を継続する。

(2) 今年度テーマ

- ① 次世代の人材育成、人材確保
- ② 学習意欲の向上

(3) 研修計画

- ① ファーストステップ研修の実施
- ② 外部研修会への積極的参加
- ③ 専門分野の事業部内学習会の実施
- ④ 認知症ケアの専門性向上と口腔ケアの充実にかかる研修の参加と実施

平成30年度 養護・障がい事業部 重点目標

(1) 顧客の満足

- ① 中長期計画に基づき地域ニーズに応えるよう事業を展開する。
- ② 大規模災害に対応する事業継続計画に基づき、研修や訓練を実施する。
- ③ リスクマネジメント管理者を中心に、リスクマネジメントマニュアルの定着を図り、より利用者の安全・安心を守る。
- ④ 社会福祉法人の存在意義を職員一人ひとりが理解し、地域ニーズに応じた社会貢献活動を推進する。

(2) 職員の満足

- ① 事業部として、研修及びOJTを中心にして次世代の人材育成に努める。
- ② 新人事制度の定着を図りやる気につなげる。
- ③ 資格取得を奨励する。
- ④ 時間外労働の削減、有給休暇の取得率の向上に努める。
- ⑤ 職員のメンタルヘルス対策に努める。

(3) 経営の満足

- ① ひまわりの家の定員充足をめざす。
- ② 障がい事業の展開の見直しを行い、真に地域ニーズに対応しているか研究する。
- ③ ぼのぼの移転準備。
- ④ 三瓶地区における障がい施設または地域共生型施設の調査・研究。
- ⑤ 収益性の確保に向けて効率化及びコスト削減に努める。

平成30年度 養護・障がい事業部 人材育成計画

(1) 現場研修の方針

- ① 養護・障がい事業部の職員が、働きがいを持ち、利用者の方々に大きな夢や希望を与えられるように。
- ② 各種資格取得への支援の継続。(前年度資格取得者への助成)

(2) 今年度テーマ

- ① 次世代の人材育成、人材確保
- ② 各事業所でのOJTの推進と定着。
- ③ 新人・新任職員への指導・教育体制の整備(サポーター制度の推進)

(3) 研修計画

- ① 事業部全体研修(年度当初に開催予定)
- ② OJT研修(OJTの推進)
- ③ 事業部内の新人・新任研修(年4回 開催予定)
- ④ 経験年数に応じた事業部合同研修(2～4年目、5～9年目)
- ⑤ 虐待防止研修(年2回 開催予定)
- ⑥ パート研修
- ⑦ 専門分野での事業所・事業部内学習会の実施(強度行動障害研修等)
- ⑧ サポーター業務報告会(サポーター業務の報告とフォローアップ)

平成30年度 児童事業部 重点目標

(1) 顧客の満足

- ① 認定こども園“うわまち未来こども園”の理念・基本理念のもと、園児・保護者との信頼関係を築き、安心・安全な環境の確立と地域の福祉サービスの拠点となるように努める。
- ② 多田保育園並びに石城保育園の保育内容を引き継ぎ、園児・保護者・地域との信頼関係を築き、地域に根ざした保育を継承する。
- ③ 自己評価を自園の評価につなげ、保育サービスの維持・向上、及び安心・安全な保育環境を図る。
- ④ 7月15日の「安全を考える日」の浸透とリスクマネジメントを継続する。
- ⑤ ホームページの活用を推進し、様々な情報を保護者・地域に提供する。

(2) 職員の満足

- ① 人事制度の定着を図り、働きがいにつなげる。
- ② 「技能・経験に応じた保育士等の処遇改善制度」の調査研究を行うとともに、専門研修会の参加を推進し、分野別のスキルアップを図る。
- ③ 時間外労働の削減と休憩時間の取得ができる体制を構築し、働きやすい職場環境を推進する。
- ④ 職員交流事業やサークル活動により、法人職員相互の交流・親睦を図る。
- ⑤ 相談しやすい環境づくりを維持し、メンタルヘルス対策に努める。

(3) 経営の満足

- ① 認定こども園“うわまち未来こども園”の収支状況を的確にとらえ、安定した経営・運営が行えるように努める。
- ② 地域の出生状況や保護者・地域のニーズを把握し、事業内容等に反映することに努めるとともに、中・長期計画に反映する。
- ③ 各保育園の園児数の動向や収支状況を把握し、適切な保育環境を維持しながら、安定した経営に努める。
- ④ 高山保育園運営計画の調査研究を推進する。

平成30年度 児童事業部 人材育成計画

人材育成基本理念

「関わるすべての人に、生きがい・希望・大きな夢を与えることができる職員育成を目指す。」

基本方針の計画・推進

テーマ 施設長を中心として各事業所でのOJT推進 ～OJTに対する理解と推進～

(1) 現場研修の方針

- ① 必要なスキルや働きがい等、職場内のOJTの浸透。
- ② 専門別研修の参加を推進し専門分野の知識を深め、職員のスキルアップを図る。
- ③ 保育所保育指針と幼稚園教育要領の理解

(2) 今年度テーマ

- ① ヒヤリハットに気づく職員の育成と固定遊具のリスクの浸透を行い、事故防止の取組みを継続する。
- ② 次世代の人材育成
- ③ 保育所保育指針と幼稚園教育要領の理解を図る。

(3) 研修計画

- ① 危険予知トレーニングの実施
- ② 専門分野別研修
- ③ 認定こども園の理解
- ④ 新人・新任研修会の実施とOJTの浸透
- ⑤ 保育の計画の理解

施設名 : 松葉寮

【施設理念】

- ・誰もが利用したくなるような施設・事業所づくり

【経営方針】

- ・施設理念に基づき、常に相手の立場に立ったサービスを提供し利用者お一人お一人を大切にします。
- ・職員としての『気づき』を養い、向上心を高めて技能・知識の習得に努めます。
- ・松葉寮での仕事に誇りと愛情が持てる職員を育成し、職員同士が認めあえる関係を醸成します。
- ・地域に根差した施設づくりを目指し、社会貢献活動に力を入れます。
- ・各事業所の利用率・利用者数向上に努め、安定した経営に努めます。

【事業計画】

※重点目標

≪松葉寮≫ ・地元地域への貢献活動 ・地域への発信 ・認知症ケアの充実 ・口腔ケア体制の強化 ・機能訓練体制の維持強化 ・「気づき」の育み ・防災・減災力の強化 ・職員のメンタルヘルス対策 ・報連相の徹底 ・EPA介護士受け入れの研究及び推進	≪ケアハウスれんげ≫ ・地元地域への貢献活動 ・地域への発信 ・認知症ケアの充実 ・自立支援の充実 ・専門職としての知識・技術の向上 ・研修会への積極的参加 ・防災・減災力の強化 ・職員のメンタルヘルス対策	≪居宅介護支援事業所≫ ・地元地域への貢献活動 ・地域への発信 ・報連相の徹底 ・介護支援専門員の質の向上 ・職員のメンタルヘルス対策 ≪居宅介護支援事業所≫ ・地元地域への貢献活動 ・地域への発信 ・報連相の徹底 ・職員の質の向上 ・職員のメンタルヘルス対策	≪開明の杜≫ ・地元地域への貢献活動 ・地域への発信 ・認知症ケアの充実 ・口腔ケア体制の強化 ・機能訓練体制の維持強化 ・「気づき」の育み ・防災・減災力の強化 ・職員のメンタルヘルス対策 ・報連相の徹底
---	---	---	--

【数値指標】

	松葉寮			ケアハウス		訪問介護	開明の杜		居宅介護支援
	地域密着型	広域型	短期入所	特 定	措 置		入所	短期入所	
利用者定員	19名	56名	20名	21名	9名	要介護 18名	29名	10名	180名(介) 25名(予)
1日平均利用者数	17名	53名	17名	18名	8名	総合 7名 障がい 4名	27名	7名	170名/月(介) 20名/月(予)
稼働率	90%	94%	85%	90%	90%	-	93%	70%	90%
総収入(千円)	92,960	228,625	66,170	54,137	14,863	12,380	120,790	34,192	35,400
職員数	正職員	12名	39名	11名	6名	3名	20名	6名	6名
	パート	2名	13名	6名	5名	1名	3名	1名	1名

施設名 : 皆楽園

【施設理念】

- ・皆楽園に住んでよかった、皆楽園を利用したいと言える施設づくり

【経営方針】

- ・利用者様のこれまで生きてこられた環境を基本にしつつ、お一人お一人にあった希望を大切にしながら相手の立場にたったサービスを提供します。
- ・家族や地域とのふれあいを密に生きがいの感じられる《普通の暮らし》を目指します。
- ・法人職員・皆楽園職員としての自覚を持ち、常に向上心をもって技能・知識の習得に努めます。
- ・利用者様の有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るよう支援します。
- ・経営の効率化、稼働率の上昇に努め健全経営を維持推進します。

【事業計画】

※重点目標

皆楽園(短期入所を含む)

- ① 大規模災害に対しての強い施設づくり
 - ・福祉避難所として役割を果たす為の訓練、研修
 - ・各種の災害に対応出来る定期的な避難訓練実施
 - ・地域住民を含めた備蓄の確保
- ② 看取り介護の更なる実践
 - ・質を高める為の研修会への参加及び家族への情報提供
 - ・職員のメンタルヘルス対策
- ③ 職員の質の向上
 - ・資格取得者支援
 - ・研修会、勉強会への参加及び技術継承者の育成
- ④ 地域への発信
 - ・地域に必要なニーズを洗いだし、施設としての役割や社福の責務を果たす活動推進
- ⑤ 安定した経営
 - ・稼働率のアップ 1)入居者様の体調管理 2)利用しやすい施設 3)待機者の把握
 - ・無駄な経費削減
- ⑥ 働きやすい職場づくり
 - ・お互いを認め、高め合える職場
 - ・業務の合理化を図り、時間外労働の削減、有休休暇の取得推進
 - ・職員同士の良好な関係を構築する

デイサービスセンター皆楽園

- ① 大規模災害に対しての強い施設づくり
 - ・地域住民参加による連携
- ② 職員の質の向上
 - ・資格取得者支援
 - ・研修会、勉強会への参加及び技術継承者の育成
- ③ 地域への発信
 - ・地域に必要なニーズを洗いだし、施設としての役割や社福の責務を果たす活動推進
- ④ 安定した経営
 - ・介護報酬改定に伴いサービス提供に応じた介護報酬を算定し、安定した経営を目指す
 - ・新規の利用者様を増やし、稼働率の増加に努める
- ⑤ 働きやすい職場づくり
 - ・お互いを認め、高め合える職場
 - ・業務の合理化を図り、時間外労働の削減、有休休暇の取得推進
 - ・職員同士の良好な関係を構築する

【数値指標】

	デイサービス	皆楽園		配食サービス
		老人ホーム	短期入所	
利用者定員	18名	50名	10名	20食/日
1日平均利用者数	15名	49名	8名	8名
稼働率	83%	98%	80%	40%
総収入(千円)	44,083	233,951	37,387	1,267
職員数	正職員	6名	33名	4名(兼務)
	パート	3名	5名	2名(シルバー)

施設名 : あけはま荘

【施設理念】

- ・ご利用者に安心で尊厳のある生活の場を提供し、皆様から愛され、信頼される施設を目指します。

【経営方針】

- ・利用者お一人お一人のニーズに対応できる質の高いサービスを提供いたします。
- ・職員が働きやすい職場を醸成し、働きがいの向上を目指します。

【事業計画】

※重点目標

あけはま荘（短期入所を含む）

- ① 利用者満足度を高める支援に努めます。
 - ・接遇を見直し、気持ちのよい対応を心がけます。
 - ・褥瘡、排泄・口腔ケアの充実を図ります。
- ② 看取り介護の実践を充実します。
 - ・職員の看取りへの意識を更に高めます。
 - （入所時より楽しみが持てるよう関わり、あけはま荘に入所して良い終末を向かえられるように）
 - ・嘱託医との連携を密にし、ご家族等満足のできる終末期の過ごし方について検討を行います
 - ・看取り介護に対する振り返りを行います。（振り返りを次に活かします）
- ③ 短期入所利用のニーズに対応し、利用者増を目指します。
 - ・関係機関との連携にて、緊急利用や様々な要望にも対応します。
 - ・明浜外（宇和等）の利用者の受入を積極的に行います

明浜デイサービスセンター ※ 来てよかった。また来たい。と思えるデイサービスを目指します。

- ① 利用者満足度を高めるデイサービス運営に努めます。
 - ・レクや行事を活性化するため、職員自身でいろんな企画を作り上げ、実施します。
 - ・接遇や介護技術の向上を図ります。（施設内外の研修を通して）
- ② 30年度報酬改定への対応
 - ・関係機関との情報収集に努めます。
 - ・心身機能の維持に係るアウトカム評価の調査研究（Barthel Indexの活用）
 - ・各種加算の検討
- ③ 職員間での報連相の徹底と情報の共有化に努めます。
 - ・ミーティングや会議を上手く活用し、合理的に情報を共有します。

ケアハウスはまゆう

- ① 一般利用及び特定利用ともに利用者満足度を高めます。
 - ・レクや余暇活動・機能訓練の充実を図ります。
 - ・接遇の向上を目指します（施設内外の研修を通して）
- ② 認知症ケアに関する専門性の向上を目指します。
 - ・施設内学習会の開催や各研修会への参加を増やします。
- ③ 重度化への対応強化
 - ・転倒予防と骨折0を目指します（住環境の整備（手すり・センサー設置等））

★ 共通重点項目

- ① 職員の働きやすい環境整備
 - ・目的を持って主体的に行動する職員の育成に取り組みます。
 - ・信頼・協力し合える職員関係の構築を行います。
 - ・定時で帰れる職場、休憩の取りやすい環境を整えます。
- ② 各職員が経営に参加できるよう提案・意見が集約できる仕組みの導入します。
 - ・日常から提言できる場の提供します（各委員会）
- ③ 利用者の安全を守る取り組みの実施します。
 - ・リスクマニュアルの見直しとその周知に力を入れます。
 - ・防災対策を充実します。《防災計画の整備やBCP（事業継続計画）の策定》
- ④ 社会貢献について検討をし実践を行います
 - ・地域ニーズの掘り起こしを行います
 - ・専門知識を活かした活動（介護の勉強会・教室等）を外で行います。
 - ・地域にある、困難事例等に積極的な関わりが持てるよう関係機関との連携を図ります
 - ・障がい者雇用

【数値指標】

	特養	ショート	明浜デイ	ケアハウスはまゆう	
			通所介護	一般	特定
利用者定員	85名	5名	18名	30名	
1日平均利用者数	83名	3.9名	15.5名	8.5名	20.5名
稼働率	97%	78%	85%	96%	
総収入(千円)	359,280	15,520	44,390	16,112	58,779
職員数	正職員	48名	3名	7名	6名
	パート	19名	0名	2名	6名

施設名 : 宇和デイサービスグループ

【施設理念】

- ・在宅生活を選ばれた住民（利用者・家族）の心強い味方であろう！
- ・まずは行動し修正する！
- ・ご利用の皆さん 関係機関 同僚に対する 「優しさ」 の体現

【経営方針】

- 福祉の里・游の里・ななほし中川・うつのみやさんの家・石城あんしんの家れんげ・あんしんの家
- ・独自の概念を払拭し、状況に応じたサービス（入浴・レクリエーション等）を展開させます。
 - ・地域社会との交流を促進し、地域と共に歩む福祉拠点を目指します。
 - ・高齢者、障がい者の自立した生活を目指し、心身の機能回復・向上が促進されるよう支援します。
 - ・職員は常に自らのスキルアップを図るべく研鑽を重ね、福祉職としての誇りを持ちます。
 - ・認知症に対する専門性を向上させ住み慣れた場所での生活支援に努めます。
 - ・職員それぞれが「優しさ」を体現しコミュニケーションの充実を図ります。
 - ・他者を尊重し、共感し、施設の事情は後回し。

游の里温泉

- ・お客様がゆっくりくつろげ、リピーターとして何度も足を運んで頂けるような気持ちの良い温泉施設を目指します。

【事業計画】

※重点目標

福祉の里・游の里

- ・積極的な新規及び臨時利用の受入れ、送迎のあり方の再検討で稼働率向上を目指します。
- ・一日平均利用者数を福祉の里23名、游の里40名を目標とします。

ななほし中川・うつのみやさんの家・石城あんしんの家れんげ・あんしんの家

- ・積極的且つ迅速な新規利用の受入れ、短時間利用希望への柔軟な対応を図ります。
- ・事業の効率化を行い、経費の節減を常に意識・実践し、健全な施設経営を目指します。
- ・確実に休憩時間を確保するとともに、計画性を高めた業務遂行で働きやすい職場環境を構築します。
- ・地域に開かれた施設として相談支援力を発揮します。

歩（宇和、みま店）

- ・定員を増やすことで、空き待ち（予約待ち）の利用者の解消を行います。
- ・うわまち南保育園移設に伴い施設有効利用の為、移転し活用します。（宇和）
- ・総合事業をスムーズに軌道に乗せます。
- ・リハビリスタッフの充実と人材育成（勉強会や研修会）を進めます。
- ・リハビリテーションに特化したデイサービスとしてその専門性を活かした地域への社会貢献を実践していきます。

游の里温泉

- ・経費の節減を意識し実践していきます。
- ・地域に開かれた施設として相談支援力を発揮します。

【数値目標】

	游の里デイ	あんしんの家		石城あんしんの家	游の里温泉	歩
		通所介護	短期入所	認知症対応型通所介護		宇和
利用者定員	45名	14名	4名	12名	--	30名
1日平均利用者数	40名	10名	3名	6名	230名	23名
稼働率	90%	71%	75%	50%	--	77%
総収入（千円）	63,465	42,330		24,360	51,217	29,531
職員数	正職員	10名	7名	3名	--	4名
	パート	6名	2名	2名	11名	1名

	福祉の里デイ	配食	ななほし中川		うつのみやさんの家	歩
			通所介護	短期入所	認知症対応型共同生活介護	みま店
利用者定員	30名	年間1,100食	14名	5名	9名	24名
1日平均利用者数	24名	3.1食	10名	4.6名	9名	18名
稼働率	80%	--	71%	90%	100%	75%
総収入（千円）	72,760	1,056	57,451		39,482	23,970
職員数	正職員	10名	--	8名	6名	4名
	パート	6名	2名	1名	2名	1名

施設名 : 三楽園

【施設理念】

- ・心安らぐ生活の場を提供し、ご家族及び地域より信頼される施設を目指します。

【経営方針】

- ・利用者の人権・尊厳を重んじ、生きがいを持って自立した生活が送れるよう支援します。
- ・利用者お一人お一人が安心して生活できる環境を整えます。
- ・様々な形での社会交流・参加を積極的に行い、地域に開かれた施設を目指します。
- ・福祉職としての誇りと向上心を持ち、自己研鑽に努めます。
- ・職員のモチベーション向上に繋がるよう、労働環境の整備に努めます。
- ・健全経営に向け、稼働率の維持ならびに経営努力を行います。

【事業計画】

※重点目標

- ・安全面に考慮し個々の状態に応じた自立に向けた支援、残存機能の維持活用に努めます。
- ・嗜好調査を実施すると共に、口腔ケアを強化し全員が普通食で食べられるよう支援します。
- ・職場内の報連相を徹底し、職種間の連携を密に取りながら、包括的な支援を行います。
- ・法令順守、コンプライアンス等、内部監査の強化に努めます。
- ・施設が持っている機能を活かし、地域住民への介護予防教室等社会貢献を実施します。
- ・平成33年度事業開始の移転に向けて情報収集の強化に努めます。

【数値指標】

		三楽園
利用者定員		50名
1日平均利用者数		48名
稼働率		96%
総収入(千円)		117,617
職員数	正職員	15名
	パート	8名

施設名 : 松葉学園

【施設理念】

共に考え共に生きる ーその人らしく、ありのままにー

【経営方針】

- ・地域の中で誰もが安心して暮らせるよう、子どもから大人まで一人ひとりのニーズに対応し、総合的に障がい福祉サービスを展開する。

【事業計画】

(顧客満足)

- 利用者一人ひとりの人権を尊重し、地域に開かれた施設づくりをめざす
 - ①意思決定(自己選択、自己決定)につながる支援の充実を図り、支援の質を高める
 - ②施設の機能やサービスを生かした社会貢献活動の取り組み
 - ③快適な暮らしや日々の活動のための施設環境づくり
 - ④利用者の高齢化に向けての対策検討

(職員満足)

- 職員一人ひとりが自分の役割を自覚し、得意分野を施設の機能として生かせる職員体制づくり
 - ①自信ややりがいとなる支援力の強化
 - ②結果を出すのは自分達という誇りを持って取り組める職員の育成
 - ③OJTを中心とした人材育成
 - ④資格取得の奨励
 - ⑤研修会への参加

(経営満足)

- 在宅利用者へのサービスの充実
 - ①現在展開している事業の整理とあり方検討
 - ・障がい児通所支援事業所ぼのぼのの東保育園跡地への移転及び事業開始
 - ・生活介護活動場所の有効利用及び活動内容検討
 - ②短期入所利用者の受け入れ体制・支援の充実

【数値指標】

	松葉学園			夢の家	いつとき館	ぼのぼの		
	施設入所	生活介護	短期入所			児童発達	放課後等デイ	保育所等訪問
利用者定員	30名	47名	5名	41名	20名	5名	20名	5名
1日平均利用者数	28名	45名	4名	36名	22名	2名	20名	0.1名
稼働率	93%	95%	80%	87%	110%	40%	100%	2%
総収入(千円)	71,553	147,050	10,900	42,917	83,488	6,106	29,146	669
職員数	正職員	30名		3名	5名	4名		
	パート	19名		12名	7名	5名		

施設名 : 希望の森

【施設理念】

一人ひとりの思いに寄り添い、自分らしい生き方を尊重します

【経営方針】

- ・利用者一人ひとりのニーズに柔軟に対応し、これまで培ってきた信頼と専門性を福祉サービスという社会資源として提供し、地域と共に生きる福祉の拠点となることを目標とします。

【事業計画】

(顧客満足)

- 利用者一人ひとりの豊かな生活と安心・安全な暮らしを支え、地域に愛され親しまれる施設づくり
 - ①利用者のプライバシーや人権を配慮した支援の実践
 - ②地域交流行事による社会貢献活動の継続
 - ③利用者が快適に過ごせるための施設環境づくり (設備整備含む)
 - ④入所利用者の高齢化に向けての対策検討

(職員満足)

- 自分の持っている力を発揮し、チームとして取り組む姿勢をもつ職員体制づくり
 - ①自分の力を生かせる働きやすい職場環境づくり
 - ②OJTを中心とした人材育成
 - ③資格取得の奨励
 - ④研修会への参加

(経営満足)

- 在宅利用者へのサービスの充実
 - ①生活介護利用者の受け入れ体制整備
 - ②短期入所利用者の受け入れ体制・支援の充実
 - ③迅速・丁寧な相談支援の対応

【数値指標】

	希望の森			相談支援	
	施設入所	生活介護	短期入所	計画相談	各委託事業
利用者定員	40名	50名	5名	150件/年	--
1日平均利用者数	39名	47名	3名	--	--
稼働率	97%	95%	70%	--	--
総収入 (千円)	94,710	144,320	9,200	4,143	6,817
職員数	正職員	27名		2名	
	パート	11名		1名	

施設名 : ひまわりの家

【施設理念】

「子どもには大きな夢を」を柱として、児童憲章の精神と児童福祉法の理念に基づき、児童が安心して暮らせる環境を提供し、健全な社会の一員として明るくたくましく生きることのできる児童の育成を目指します。

【経営方針】

(利用者の満足)

- ・家庭的な養育環境である小規模グループケアを推進し、よりきめ細やかな支援により、児童の最善の利益を優先した養育を行います。また、家族再統合に向けて家庭支援専門相談員が中心となり、各関係機関と連携し、早期の家庭復帰に努めます。

(職員の満足)

- ・福祉活動の財産は人であるとの考えに基づき、養育・支援の質の向上に向け、施設内外の研修により、知識や援助技術の向上を図るとともに資格取得に努めます。

(経営の満足)

- ・時代や環境の変化に対応し、安定的・効率的な施設経営を目指します。

【事業計画】

※重点目標

- ①施設や学校での生活など環境の変化に児童が動揺することなく、安心・安全に生活ができるよう環境を整え、児童のケアに努めます。
- ②家庭的養護推進のため小規模グループケアによる細やかな養育・支援を行う職員のスキルアップを目指し、施設内外の研修に参加させ、知識や援助技術の向上を図るとともに資格取得を支援します。
- ③児童心理治療施設と連携し、児童ケース会議において児童精神科医師による所見や心理士による心理療法等を実施し、児童の支援に努めます。
- ④心理士を配置し、軽度の発達障害児、被虐待児への遊戯療法やカウンセリングなどの心理療法等を実施し、児童の心のケアができるように職員確保に努めます。
- ⑤リスクマネジメントマニュアルに基づき研修や訓練を実施し、児童の安全・安心を守ることができるよう、職員の意識を高めます。
- ⑥毎年の自己評価や第三者評価の結果を分析・検討し、よりよい施設運営ができるような体制づくりを整備します。
- ⑦ボランティアの受け入れや福祉系大学等の施設実習に協力し、地域や社会に対して開かれた施設を目指します。

【数値指標】

	児童養護施設	児童心理治療施設
利用者定員	20名	10名
1日平均利用者数	16名	8名
利用者目標	20名	10名
稼働率	80%	80%
総収入(千円)	103,894	56,904
職員数	正職員	16名(兼務4名)
	パート	3名(兼務1名)
		14名(兼務4名)
		1名(兼務1名)

施設名 : うわまち未来こども園

【施設理念】

- ・一人ひとりが輝き “生きる力” を培う

【経営方針】

うわまち未来こども園

- ・体験活動や交流を通して、子どもの主体性を育み、柔軟なこころとからだを育てる。
- ・一人ひとりのこころにより添い、自己肯定感を育む。
- ・一人ひとりの特性や発達にそくした養護と教育を一体的におこなう。
- ・保育の質の向上や安心安全な保育環境を目指して、資格取得や自己研鑽に努める。

なかよしクラブ

- ・児童一人ひとりを大切に、共働きや一人親家庭の児童にたいして放課後や長期休業・学校休業日に、安全で充実した生活が送れるように努める。
- ・子どもたちの健やかな成長を願い、保護者・地域の子育て支援に努める。

【事業計画】

※重点目標

(1) 利用者の満足

- ・園児、保護者の信頼関係を築き安心・安全な環境の確立に努める。
- ・ヒヤリハットの意識向上を図る為に、職員の研修を実施し、事故防止に関する意識改革を行う。
- ・人材育成により専門性を高めるとともに、より質の高い保育及びサービスの提供に努める。

(2) 職員の満足

- ・時間外勤務の適切な管理、休憩時間の確保等、やりがいをもって働き続けられる職場づくりを目指す。
- ・人材育成に努め、資格取得を支援し、専門性を高める研修への積極的な参加を促す。
- ・職場の中での報・連・相を重視し共通意識を持てるようにする。。

(3) 経営の満足

- ・園の収支状況を的確にとらえ、安心 安定した経営・運営が行なえるように努める。
- ・子育て支援、一時保育の情報をHP等で広く周知し、出会いの場や育児相談等により、在宅子育て支援の充実に努める。

【数値指標】

利用者数	定員	190名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率	95	児童数 (4/1現)	7名	26名	26名	39名	46名	39名
特別保育	年間利用 延人数	延長保育							2,000名
		病後児保育(体調不良児対応型)							280名
		一時預かり保育							480名
		学童保育(なかよしクラブ)							11,000名
職員数	正職員							29名	
	パート							16名	
総収入(千円)								186,094	

施設名 : 中川保育園

【施設理念】

- 一人ひとりの子どもの思いを受け止め、様々な体験や人とのかかわりの中で、生きる力を培う。

【経営方針】

中川保育園

- 地域のニーズ把握に努め、保育の充実を図ることで、信頼される保育園を目指す。
- 地域性を活かし、郷土文化の伝承やわらべうた、栽培や調理体験をもとにした食育等、様々な経験を通して心豊かな子どもの育成に努める。
- 園内外の研修への参加や資格取得等の自己研鑽に努め、保育の質や職員の資質向上を図る。

ななほし中川学童保育

- 子ども一人ひとりを大切に、保護者・地域から信頼される運営に努める。
- 子どもたちの健やかな成長を願い、保護者・地域の子育て支援に努める。

【事業計画】

※重点目標

(1) 利用者の満足

- 職員のヒヤリハットに対する意識向上を図り、リスク管理に努め、子どもたちが安全に過ごせる環境を確保する。
- 保育の独自性や専門性の発信につとめ、積極的に子育て支援に努める。
- リスクマニュアルや水害避難のマニュアル等の整備・周知を行い定着を図り、園児の安全確保を図る。

(2) 職員の満足

- 人事制度が職員一人ひとりの自己を高める指標となるよう機会を捉えて浸透を図り、働きがいのある職場づくりをおこなう。
- 電算化を引き続き推進し、事務処理の効率化を図り、時間外勤務の適切な管理、休憩時間の確保等を行う。
- 職場の中での報・連・相やコミュニケーションを円滑にし、意欲を持って働ける職場環境を目指し、職員の心の健康の保持増進に努める。
- 資格取得を支援し、専門性を高める研修への積極的な参加を促すことで、次世代の人材育成に努める。

(3) 経営の満足

- 法人のMDCVSを明示し職員の周知に努め、共通の認識として浸透させる。
- 施設の運営状況について、職員一人ひとりの意識を高め、節約に努めると共に経営の安定化を図る。
- 保護者や地域のニーズを把握し、事業内容の検討を行い、次期中長期計画に反映する。

※施設整備

- 事務室ロールカーテン設置・休憩室網戸取り付け・ストックハウス取替え設置 (ひのき倉庫)

【数値指標】

利用者数	定員	50名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 134%	児童数 (4/1現在)	6名	7名	17名	7名	14名	16名	67名
職員数	特別保育	年間利用	学童保育 (ななほし中川)						5,500名
		正職員							12名
		パート							17名
総収入 (千円)									100,987

施設名 : 田之筋保育園

【施設理念】

- ・自然の中で、一人ひとりが輝き生き抜く力の基礎を培う

【経営方針】

- ・自然豊かな環境を生かした遊びや実体験を通した保育の中で、好奇心・探究心・思考力を育て、心身共に逞しい子どもに育つよう努める。
- ・園庭の全面芝生化を継続し、全園児が裸足で安心して遊べる環境を守る。
- ・異年齢やボランティア・地域の方等との関わりをもつ中で、人と関わる力の基礎を育てていく。

【事業計画】

※重点目標

- (1) 利用者の満足
 - ・自己評価を行い、保育サービスの維持・向上及び安心・安全な環境作りに努めていく。
 - ・ヒヤリハットの気づきや対応について研修を重ね、事故防止の意識向上を図っていく。
 - ・ホームページを活用し、様々な情報を保護者や地域に提供する。
- (2) 職員の満足
 - ・OJTリーダーを中心に専門性を高める研修に参加し、スキルアップを図っていきけるように努める。
 - ・働きやすい職場となるよう、電算化の適切な記録と処理の効率化を図り、時間外勤務の削減と休憩時間の確保等、体制を整えていく。
 - ・職場内での報連相を丁寧に行ない、お互いが意見を出し合える職場づくりに努める。
- (3) 経営の満足
 - ・保護者や地域のニーズを把握し、事業内容等に反映していくことに努める。
 - ・運営状況について把握し職員に伝え、適切な保育環境を維持しながら、安定した経営に努める。

【数値指標】

利用者数	定員	40名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 115%	児童数 (4/1現在)	2名	7名	9名	12名	3名	13名	46名
職員数	正職員								9名
	パート								3名
総収入(千円)									62,490

施設名 : 下宇和保育園

【施設理念】

- ・豊かな自然体験やさまざまな人とのかかわりを通して、「生きる力」の基礎を培う。

【経営方針】

下宇和保育園

- ・地域に根ざした保育園として、保護者や未就園児親子の子育て支援を行い、専門機関としての保育サービスを目指す。
- ・老人クラブや地域のボランティア・高校生・中学生・小学生等、多様な人とのふれあいを通して『人と関わる力』を育てる。
- ・異年齢児とのかかわりを大切にし自然の中での遊びや法華津峠や高森山登山などの実体験を通して、強い心と、やさしい気持ち、元気な身体を育てる。

学童保育明下田クラブ

- ・共働きや一人親家庭の児童に対して、放課後や長期休業・学校休業日に、安全で充実した生活を送ることができるよう努める。
- ・子どもたちの健やかな成長を願い、保護者・地域の子育て支援に努める。

【事業計画】

※重点目標

(1) 利用者の満足

- ・保護者アンケートで得た評価や反省をもとに、より質の高い保育を実施していく。
- ・施設整備を行い、子どもたちが安心して、また、安全に過ごせるような保育環境を作っていく。
- ・ヒヤリ・ハット0の気づきに対する意識向上と、リスクに対応できる職員を育て、ケガや事故などの削減に努める。

(2) 職員の満足

- ・新人事制度や評価制度の理解を深めていくと共に、職員が働きがいを感じ十分に力が発揮できるような職場環境作りをする。
- ・時間外勤務を適切に管理し、休憩時間、有給休暇の確保に努めるとともに、相談しやすく意見の言いやすい雰囲気作りを行い、働きやすい職場作りをする。
- ・専門性を高める研修や資格取得の助成及び奨励を行い、次世代の人材育成に努める。
- ・パソコン事務の定着化を図り、時間内の事務処理がスムーズに行えるようにする。

(3) 経営の満足

- ・HPを定期的に更新したりにこにこサークルでの在宅支援活動を充実させて、入所率アップにつなげていく。
- ・施設の運営状況について職員一人ひとりの意識を深め、節約に努める。
- ・新制度の施行で制度の運用について理解し、適切に行っていく。

※施設整備

- ・職員トイレ改修（洋式）
- ・固定遊具のケレン塗装及び安全整備（安全マット等）
- ・園庭排水工事

【数値指標】

利用者数	定員	40名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 98%	児童数 (4/1現在)	1名	5名	11名	9名	9名	4名	39名
	特別保育	年間利用	学童保育(明下田クラブ)						4,000名
職員数	正職員								8名
	パート								1名
総収入(千円)									57,916

施設名 : 明間保育園

【施設理念】

- ・豊かな自然と地域の人たちとの関わりの中で、様々な体験を通し「生きる力」を培う

【経営方針】

- ・自然の中での遊びを中心とした体験活動をさらに広げ、豊かな感性を養い心身共にたくましい子どもに育つよう努める。
- ・職員一人ひとりが、地域に根ざした保育を目指し、保育の質を高め子どもや保護者の願いを受け止め、安心・安全な保育を行っていただけるよう、幅広い研修や実践に努める。
- ・保護者と共に保育に関する相互理解を深め、一人ひとりの子どもの心身の状況を考慮しながら環境づくりに努める。

【事業計画】

※重点目標

(1) 利用者の満足

- ・7月15日「安全を考える日」について職員に浸透させ、ヒヤリハットの分析・改善策・固定遊具のリスクを職員間で共有することで未然に事故を防止し、子どもたちが安心・安全に過ごせる保育環境を確保していく。
- ・人材育成により職員の専門性を高め、質の高いいねいな保育を行っていく。

(2) 職員の満足

- ・電算化によるスムーズな事務処理の定着化を図る。
- ・専門性を高める研修への参加や資格取得を支援し、資質向上を図る。
- ・時間管理や協力体制について話し合い、休憩時間、有給休暇の確保に努め、働きやすい職場環境作りを行う。
- ・職場内で相談しやすい環境作りを行い、職員の心の健康の保持増進を図る。

(3) 経営の満足

- ・法人MDCVSを明示し、職員の周知に努め共通認識を図り浸透させていく。
- ・節約に心がけ、光熱費・ゴミの削減を図る。
- ・地域の出生状況や保護者・地域のニーズを把握し、園児数の増加につながるよう努める。

【数値指標】

利用者数	定員	20名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 95%	児童数 (4/1現在)	2名	0名	4名	4名	5名	4名	19名
職員数	正職員		6名						
	パート		2名						
総収入(千円)		35,648							

施設名 : 宇和保育園

【施設理念】

- ・子どもの最善の利益を考慮する。
- ・生活の場としてふさわしい安心・安全な保育環境を増進する。
- ・家庭や地域社会と連携を図り、地域の子育て支援の拠点としての機能を果たす。

【経営方針】

宇和保育園

- ・子どもの状況や発達過程を踏まえて、心身共に健全に育つよう環境の中で養護及び教育を一体的に行い「生きる力」の基礎を培う。
- ・地域の人との交流を通して、人のかかわりや様々な実体験により、豊かな心と逞しい体を育成する。
- ・職員は県内外の専門研修を受講し知識・技能を高め、保育の質の維持・向上に努める。

一時保育

- ・一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮して柔軟な保育をする。

地域子育て支援センター

- ・地域の子育て家庭の育児不安を和らげ、安心して気持ちよく利用できる環境づくりをする。

【事業計画】

※重点目標

(1) 利用者の満足

- ・専門分野における知識・技能を高め、より質の高い保育及びサービスの提供に努める。
- ・ヒヤリハットの意識向上と事故防止対策を継続し、事故件数の削減と安心・安全な環境を維持する。
- ・ホームページの掲載内容の検討と定期的な更新を図る。

(2) 職員の満足

- ・人事制度と評価制度の定着を図り、成長や達成したことに喜びを感じ、職員の働きがいや喜びにつなげる。
- ・専門研修により、個々の専門知識や技術を高め、意識向上や職場のOJTを推進する。
- ・保育や職場環境について職員で意見を出し合い、共により良い方向を見出していく。
- ・交流事業や自主サークルを推進し、職員交流を図る。
- ・話しやすい職場環境をつくり、メンタルヘルス対策に努める。

(3) 経営の満足

- ・入園児の状況を把握し、入園希望への対応が迅速に行えるようにする。
- ・地域子育て支援センター、一時保育の利用により、子どもを産み育てることに安心感をもっていただけるように、地域のニーズの把握に努め内容の工夫や情報を提供する。
- ・施設の老朽等には早めに修繕等を検討し、施設管理を行うことにより安心・安全な環境維持と経営の安定に努める。

※施設整備

- ・園児靴箱の更新

【数値指標】

利用者数	定員	120名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 98%	児童数 (4/1現在)	3名	19名	17名	19名	37名	22名	117名
特別保育	年間利用 延人数	延長保育							4,000名
		一時預かり保育							300名
		子育て支援センター							5,500名
		学童保育(トトロクラブ)							480名
職員数	正職員								21名
	パート								13名
総収入(千円)									127,138

施設名 : 石城保育園

【施設理念】

- ・豊かな自然と地域の人とのかかわりの中で、一人ひとりが輝き『生きる力』を育む。

【経営方針】

- ・様々な体験や地域の人たちとのかかわりの中で、豊かな心や逞しい体を育む。
- ・一人ひとりの発達と年齢に応じた保育を行い、主体的・自主的に遊ぶことを大切にする。
- ・子どもの肯定感を育み自分も友だちも大好きな子どもを育成する。
- ・地域の状況や保護者のニーズを把握し、経営・運営に反映するように努める。
- ・地域の中の施設として、地域との交流や連携を継続していく。
- ・職員のスキルアップと職員相互の連携により、保育の質の維持・向上を図る。

【事業計画】

※重点目標

- (1) 利用者の満足
 - ・園児、保護者との信頼関係を築き、移管後の運営に安心感をもっていただく。
 - ・専門分野における知識・技能を高め、より質の高い保育及びサービスの提供に努める。
 - ・ホームページを開設し、保護者や地域に情報提供を行う。
 - ・行事等により、地域の人との交流や連携を図る。
- (2) 職員の満足
 - ・共同保育を引き継ぎ、「報・連・相」により職員の相互理解を図る。
 - ・人事制度と評価制度の理解や定着を図り、職員の働きがいや喜びにつなげる。
 - ・専門研修により、個々の専門知識や技術を高め、意識向上や職場のOJTを推進する。
 - ・交流事業や自主サークルを推進し、職員交流を図る。
- (3) 経営の満足
 - ・保育園の情報を様々な方法で発信し、地域の中の児童福祉施設としての機能を果たしていく。
 - ・園児数の動向や収支状況を把握し、適切な保育環境を維持しながら安定した経営に努める。
 - ・保護者や地域のニーズを把握し、事業内容や中・長期計画に反映できるように検討する。

【数値指標】

利用者数	定員	50名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	園児入所率 95%	児童数 (4/1現在)	1名	7名	10名	11名	11名	5名	45名
職員数	正職員								10名
	パート								1名
総収入(千円)									56,940

施設名 : 多田保育園

【施設理念】

- ・様々な体験や友だち・地域の人々との関わりの中で、「生きる力」の基礎を培う。

【経営方針】

- ・地域の豊かな自然を活かし、様々な体験を通して心身ともに逞しい子どもを育成する。
- ・一人ひとりの子どもの個性や発達に応じた保育を行うとともに自己肯定感を育む。
- ・子どもの「気づき」や「しよう」とする気持ちを大切に、自ら考え行動する力を培う。
- ・地域の社会資源の一つとして、様々な交流を継続したり情報発信を行い、地域ニーズを的確にとらえ保育に反映させる。
- ・職員のスキルアップと職員相互の連携により、保育の質の維持・向上を図る。

【事業計画】

※重点目標

(1) 利用者の満足

- ・園児・保護者との信頼関係及び地域との連携を図り、移管後の運営に安心感をもっていただく。
- ・専門分野における知識・技能を高め、より質の高い保育及びサービスの提供に努める。
- ・ホームページを開設し、保護者や地域に情報提供を行う。
- ・リスクマネジメントにより、安心・安全な保育環境の維持を図る。

(2) 職員の満足

- ・共同保育を引き継ぎ、「報・連・相」により職員の相互理解を図る。
- ・人事制度と評価制度の理解や定着を図り、職員の働きがいや喜びにつなげる。
- ・専門研修により、個々の専門知識や技術を高め、意識向上や職場のOJTを推進する。
- ・交流事業や自主サークルを推進し、職員交流を図る。

(3) 経営の満足

- ・保育園の情報を様々な方法で発信し、地域の中の児童福祉施設としての機能を果たしていく。
- ・園児数の動向や収支状況を把握し、適切な保育環境を維持しながら安定した経営に努める。
- ・保護者や地域のニーズを把握し、事業内容や中・長期計画に反映できるように検討する。

【数値指標】

利用者数	定員	30名	0歳児	0名	1歳児	2名	2歳児	6名	3歳児	7名	4歳児	5名	5歳児	5名	計	25名
	園児入所率 95%	児童数 (4/1現在)														
職員数	正職員															7名
	パート															1名
総収入(千円)																39,160

施設名 : 松葉診療所

【施設理念】

「住み慣れた地域で心身ともに健康で人生を終えたい」「最後は家族で看取りたい」との思いに応えるため、在宅支援を図り地域住民に愛され、信頼される診療所を目指します。

【経営方針】

・地域に密着した安全で安心な質の高い医療と、患者様や家族との信頼関係を大切にした温もりのある医療を経営方針とします。

【事業計画】

※重点目標

- ・健全な経営のもと、職員一同、医療を担う誇りと使命感をもち、患者様へのサービス向上に努めます。
- ・医療環境の変化に対応するために医療知識と技術の向上に努め、患者様一人一人に応じた医療の提供を目指します。
- ・患者様のプライバシーを守り、法令遵守に努め、安心して受診いただける医療機関を目指します。
- ・まごころと笑顔をもって患者様とご家族に寄り添い、満足していただける医療機関を目指します。

【数値指標】

		松葉診療所
外来診療	1日平均利用者数	40名
訪問(診療・看護)	1日平均利用者数	8名
訪問(リハビリ)	1日平均利用者数	8名
総収入(千円)		98,842
職員数	正職員	9名
	パート	2名